

2018年7月2日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

## 日興アセット、中国株式運用体制を強化

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)はこのほど、中国国内の調査・運用体制を増強し、中国株式の運用能力を強化・拡大しました。日興アセットの中国株式チームは、シンガポールに拠点を置く日興アセットのアジア株式運用チームの拡張と位置づけられます。中国株式チームは現地在住の中国人アナリストや経験豊かな中国ビジネスのスペシャリストなど計6名で構成されます。

日興アセットのシンガポール現地法人「日興アセットマネジメント アジア リミテッド」でシニア・ポートフォリオ・マネージャーを務めるエンテク・タンが中国株式チームを率います。タンは日興アセットのアジア株式責任者であるピーター・サルトリにレポートし、香港拠点のポートフォリオ・マネージャー3名と中国・深センに本社を置く合弁運用会社「融通基金管理有限公司」(以下、「ロントン社」)オフィス内で活動するアナリスト2名がタンをサポートします。

巨大な中国市場では、その特徴である情報密度の高さから、まったく新しいレベルの研究と情報アクセスが必要とされます。多様性に富み相互補完的な経験を有する中国株式チームは、中国市場の機微を捉えることにおいて確かな優位性を有します。さらに、早くから中国市場に参入してきた日興アセットは、ロントン社との間で長く培ってきたパートナーシップという独自の強みを有し、同社の現地情報ネットワークや投資先企業との頻繁なエンゲージメント(対話)を共有・活用しています。両社は市場情報の発掘や投資アイデアの創出において緊密に連携しており、当チームはこうしたリサーチの優位性をポートフォリオ構築に活かし、持続可能なリターンを提供する成長株に高い確信度をもって投資します。

日興アセット副社長執行役員兼運用グローバルヘッド兼 CIO インターナショナルのユーミン・ワンは、「中国は急速に変革しており、優れた銘柄選別が最も賢明な投資の方法だと考えます。日興アセットは中国株式運用体制を幅広さと深さの両面で強化しました。スポーツの世界で往々にして最も層の厚い体制を有するチームが勝利の栄光に輝くのは、そうしたチームには逆境や未知の状況に対処できる能力が備わっているからです」と述べています。さらに、「当チームは約20年に及ぶ中国投資の蓄積を有するアジア株式運用チームの知見とロントン社の情報ネットワークに支えられています。また、ESG(環境・社会・ガバナンス)を取り入れた、実績ある揺るぎない投資プロセスに基づいた運用を行っています」と付け加えています。

日興アセットは2003年12月に資産運用会社として初めて適格外国機関投資家(QFII)を取得し、2005年2月には中国A株に投資する追加型株式投資信託を世界で初めて設定しました<sup>※</sup>。2007年4月にはロントン社への戦略的出資を行いました。2001年に設立され今日では外資系合弁資産運用会社最大手の1つとなっている同社は、深センの本社に加え、北京、上海、および成都に支店を構えています。

日興アセットでは、世界の投資家に対して、世界の成長エンジンである中国への投資機会の確保をお手伝いをする態勢が整っています。

※中華人民共和国内で設定された投資信託は除く(日興アセット調べ)

以上

中国への投資についての日興アセットの考え方などを弊社ウェブページにてご紹介しています。詳しくは下記URLをご参照ください。  
(機関投資家のお客様向け) <http://www.nikkoam.com/institutional/sp/china>  
(個人投資家のお客様向け) <http://www.nikkoam.com/sp/china>

## ■リスク情報

- 投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

## ■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 上限4.32%(税抜4.0%)

換金手数料 上限1.08%(税抜1.0%)

信託財産留保額 上限0.5%

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬(年率) 上限3.026%(税抜2.95%)

一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他費用 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、貸付有価証券関連報酬 など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

※上記手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(当資料作成日現在)
- 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが弊社の運用する投資信託についてお伝えすることを目的として作成した資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託をお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

55年を超える実績を誇り、30以上の国・地域から集まる人材を世界9カ国・地域に擁して、約200名の運用プロフェッショナルが約23.4兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計300社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

\* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

\*\* 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2018年3月末現在のデータ。

### 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会